



公社だより ～水産千葉～

(発行者)

公益財団法人 千葉県水産振興公社

〒260-0013 千葉市中央区中央 3-3-1

TEL 043-222-3181

FAX 043-222-2440

はじめに

当公社ではマダイ、アワビの種苗放流など栽培漁業に係る業務を中心に、環境関連の調査事業や漁業経営の改善指導事業に加え、新たに漁業の担い手の確保・育成業務など、本県水産業の振興に向けた取組を、千葉県や水産関係団体、市町村等と連携しながら実施しています。本号では令和7年度上半期における業務の遂行状況について報告させていただきます。

1 栽培漁業の取組(種苗生産・放流)

令和7年度上半期においては、マダイ、クルマエビ、ノリ、アワビの種苗を生産(飼育)しました。魚種別の生産量は下表のとおり、ほぼ計画どおり行うことができました。生産した種苗は、漁業関係者や市町村の皆様と協働して海へ放流しました。

なお、ヒラメ、マコガレイについては、県の施設改修工事により、種苗生産を中止したため放流は行っていないです。

アワビに関しては、近年、海水温の上昇や県施設の老朽化など複合的な要因から

令和7年度の種苗放流・配付(計画・実績)

種 類	計 画	実 績
アワビ	80万個 +可能な限り増産を目指す	34.3万個(11/7現在) (計画比 42.9%)
ヒラメ	94万尾(全長80mm)	休止中
マダイ	100万尾(全長60mm)	113.5万尾(全長65mm) (計画比 113.5%)
クルマエビ	600万尾(体長30mm)	611.2万尾(体長31mm) (計画比 101.9%)
マコガレイ	46万尾(全長40mm)	休止中
ノリ	104,000枚 (カキ殻系状体完製品)	101,200枚 (計画比 97.3%)

生産不調となり、特に令和5年度は計画比で約2割の生産に落ち込みました。

今年度は、県と連携・協力しながら生産の向上に向けて取り組んだところ、順調に成長しています。また、11月上旬からは来年度向けの採卵を開始しました。

今後も漁業者の期待に沿えるよう最大限努めてまいります。

2 新たな取組(ナマコや大型藻類)

当公社では現在の海域環境に適合した新たな水産動植物を対象にした試験研究に取り組んでいます。

漁業者の収入を向上させるため、東京湾産の親ナマコを用いて、種苗を生産する試験を実施しています。発生初期のナマコは、海の中を漂う浮遊生活をし、植物プランクトンを食べて大きくなります。その後水槽の底面や壁面などに付着する生活に移り、配合飼料等を食べて大きくなります。

また、磯焼けした藻場の回復に貢献できるようアラメ・カジメ等の大型藻類の種苗生産技術の習得に取り組んでいます。



稚ナマコ



種付けしたアラメ

アラメやカジメはアワビなどの餌であるとともに、小魚の隠れ家として重要であり、海の中で森を作っています。

近年、この海の森は、植食性の魚類などに食べられて消失が進行しています。そこで、これらの大型藻類を増やすため、成熟

した母藻から放出させた遊走子を種糸に着生させて、育成しています。育成した種糸を漁業者等に提供することで、海の中で大型藻類を増やす取組を応援しています。

3 担い手の確保・育成に向けた取組

今年度新設された漁業経営課では、県、県漁連との連携により担い手対策の推進母体となる協議会を運営するとともに、ワンストップで対応する相談窓口として「千葉県海洋人材確保・育成センター」を設置しました。

センターでは6月にホームページを開設し、県内各地区で実施されている漁業の紹介や、国や県で開催される漁業就業支援フェアのお知らせ、各種事業の紹介など漁業就業に必要な情報を幅広く提供しています。本号では現在センターで実施している漁業体験や技術研修など主要な事業の概要をご紹介します。

【漁業体験】

① 漁業インターンシップ（1～5日）

数日間の体験により、漁業への理解を深め就業先として認識してもらう事業

② 漁業就業体験（1か月）

就業希望者が漁業への適性を判断するため漁業の一通りの作業を体験する事業

【技術習得支援】

① 中期漁業技術研修（3か月）

3か月の短期雇用により就業希望者と雇用主が双方で適性や能力を見極める事業

② 長期漁業技術研修（1～2年）

漁業に従事しながら技術を習得する最長2年の研修を実施する事業

【定着等の支援】

① フォローアップ研修

新規就業者の地域定着を促進するため先輩漁業者による研修等を実施する事業

② 海技士技能訓練支援（大型船対策）

漁業者が海技士免許取得のために受講する技能訓練等に要する経費を助成する事業
センターではこれらの事業を有効に活用しながら、就業希望者に寄り添う伴走型の支援を実施しています。

今後も、魅力ある千葉県漁業の認知度向上に努めるとともに、担い手の確保・育成に有効な取組を推進してまいります。

漁業インターンシップ （まき網漁業）



4 栽培漁業の普及啓発の取組

当公社では栽培漁業の普及啓発の取組を強化しているところです。

本年度はマダイ・クルマエビ放流体験などの参加を募集したところ、4中学校、7小学校から応募があり、多くの生徒の皆さんが参加くださいました。

今後とも市町村や学校関係者等と連携して、栽培漁業の普及啓発の取組を拡大してまいります。

学校等の先生方へ

栽培漁業の取組を将来に渡って持続的に展開していくため、小中学生等を対象とした普及啓発の取組に力を入れています。

放流体験のほか、出前授業についても、対応したいと考えておりますので、興味を持たれた学校関係者の方は、是非ご相談ください。

連絡先：（公財）千葉県水産振興公社

電話 043-222-3181

メール taiken_bosyu@chisuikou.jp

担当課 栽培事業課